

リチウムイオン電池とプラスチック資源、正しく分別できていますか？

横浜市では、昨年から2つの新しい分別回収がスタートしています。ひとつは、2025年4月に全市での実施が始まったプラスチック製品と従来のプラスチック製容器包装を合わせた「プラスチック資源」の回収です。プラマークが付いているものと、一番長い辺が50cm未満のプラスチックのみでできているものになります。

そしてもうひとつが、2025年12月に開始された「電池類」の回収です。これは従来の乾電池に加えて、モバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池のほか、ボタン電池などを一緒に回収するものです。リチウムイオン電池は、廃棄物処理場やごみ収集車などの発煙・発火事故の原因となることが多く、その対策として分別回収することになりました。リチウムイオン電池は、これまで販売店・メーカーに持参し、店頭などに設置された回収ボックスに投入していましたが、現在は「燃やすごみ」の日に「電池類」としてひとつの袋に入れて出すようになっていきます。右の図のように、正しく分別して出すようにお願いします。

■電池の発火事故



モバイルバッテリーの発火

■電池類の出し方



■プラスチック資源として出せるもの



ごみと資源物の分別一覧

ごみと資源物の正しい分別は資源リサイクルの基本です。2025年4月からは「プラスチック資源」、12月からはリチウムイオン電池を含む「電池類」の分別回収がスタートしました。下の分別一覧を確認して分別し、わからないときは「ミクシヨナリー」や「イーオのごみ分別案内」で調べることができます。

資源集団回収

古紙



新聞

四つ折りにして束ねてください。折り込みチラシは一緒に出してかまいません。



雑誌・その他の紙

雑誌は付録を外して束ね、その他の紙は紙袋に入れてください。

古布



衣類、シーツ、毛布、カーテンなどを洗って乾かし、透明または半透明の袋に入れてください。



段ボール

ビニールや粘着テープを外し、必ず折りたたんでひもで束ねてください。



紙パック

「紙パックマーク」を確認し、洗って切り開き、乾かして束ねてください。

アルミ缶・スチール缶



自治会・町内会によっては回収しています。アルミ缶とスチール缶は分けてください。

缶・びん・ペットボトル

缶



残っている中身を捨て、軽くすすいでからつぶさずに出してください。

びん



飲食物のびんが対象です。飲食物以外が入っていたびんは燃えないごみに出してください。

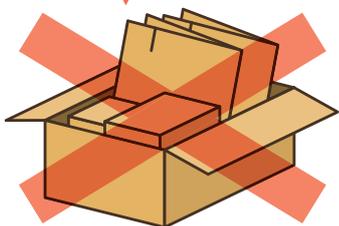
ペットボトル



「PETマーク」を確認してください。中身は捨てて軽くすすぎ、キャップとラベルを外してください。

ダメ絶対!! 段ボールのルール違反

段ボールは必ず折りたたんで!



段ボールは箱のままではなく、必ず折りたたんでください。折りたたんで重ね、ひもでくくって出してください。

段ボールの中に雑誌を入れないで!



段ボールと他の古紙類では、回収後に処理する場所が異なります。雑誌やチラシなどを混ぜないようにしてください。

※ルール違反をしている段ボールは回収されない場合があります。

プラスチック資源

プラスチック製容器包装



プラスチック製品



「プラスチック製容器包装」に加えて「プラスチック製品」も同じ袋と一緒に出してください。「プラスチック製品」は一番長い辺が50cm未満のプラスチックのみでできたもの、「プラスチック製容器包装」はプラマークを確認してください。

スプレー缶



中身を全部使い切り、キャップを外して透明または半透明の袋に入れてください。穴はあけないでください。

小さな金属類



一番長い辺が30cm未満の金属製品です。傘の骨は30cm以上でも出すことができます。

電池類



乾電池、コイン電池に加え、モバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池、ボタン電池が対象です。

粗大ごみ



金属製品は一番長い辺が30cm以上のもの、プラスチック製品、木製品などは50cm以上のものです。電話、インターネットまたはチャットで事前申し込みが必要です。

●粗大ごみ受付センター
☎ 0570-200-530
☎ 045-330-3953

●インターネット受付



●チャット案内・申込みサービス (チャットボット)



燃やすごみ



台所の生ごみや金属等を含むプラスチック製品、汚れた紙などが対象です。

燃えないごみ



化粧品のびんなどのガラス類、陶器類、蛍光灯・電球などが対象です。新聞紙、厚紙などで包み、品名を書いて出してください。なお、蛍光灯の長さ制限はありません。

それ行け! No.109
いくみちゃん♪
すかたき
おもちゃの捨て方に気をつけるくみ〜!

もう動かないね〜
このおもちゃの車壊れてくるくみ〜

喝!
ポイッ!

中にリチウム電池やバッテリーがあると発火する危険があるのじゃ

電池を外すくみ!
電池が取り出せないものは「電池入り」と書いて、他の燃やすごみと分けて出すのじゃー!

燃やすごみ
電池類



『Rd(リサイクルデザイン)』休刊のお知らせ

平素より『Rd(リサイクルデザイン)』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

Rdは、横浜市資源リサイクル事業協同組合が発行するフリーペーパーとして、横浜市民の皆さまにリサイクルの仕組みをお伝えし、3R (Reduce・Reuse・Recycle) の考え方を広めることを目的に発行してまいりました。「きれいなまちづくり」を掲げ、ごみの行方や分別の大切さ、横浜で活躍するリサイクル業者の仕事を紹介しながら、地域に根ざした紙媒体として歩んでまいりました。

しかしながら、情報発信の在り方が大きく変化する中で、紙媒体としての役割や発行体制、今後の運営の継続性について改めて見直す必要性を感じるようにな

り、慎重な検討を重ねた結果、本誌は2026年夏号(第304号)をもちまして休刊させていただくこととなりました。

長年にわたりご愛読いただいた読者の皆さま、そして発行を支えてくださった関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

最終号となる次号の夏号では、これまでの歩みとともに、あらためて感謝の思いをお伝えいたします。引き続き春号・夏号をご覧くださいましたら幸いです。

横浜市資源リサイクル事業協同組合
Rd編集部
編集人 藤本 達也

■読者の皆さまへ■

Rdを通して感じたことや思い出、分別やリサイクルについての变化、心に残っている記事などがありましたら、ぜひお聞かせください。お寄せいただいたメッセージは、最終号にてご紹介させていただく予定です。皆さまの声が、このまちの循環の歩みを残す記録となります。詳しくは応募方法をご覧ください。

【プレゼント】

ご応募いただいた方の中から抽選で、5名さまに「**りくみのダブル1ケース**」をプレゼントいたします。皆さまのご応募をお待ちしております。

【応募方法】

以下の方で応募をお願いいたします。なお、掲載の際は一部編集させていただく場合があります。

- メール mail@recycledesign.or.jp
- FAX 045-444-2532
- ホームページ

下記フォームより送信できます。
<https://www.recycledesign.or.jp/toiawase/>

●はがき

〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地
横浜市資源リサイクル事業協同組合 Rd編集部 宛
※氏名、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス(任意)、メッセージをご記入のうえ、ご応募ください。

うちの地元の名物紹介

リサイクル組合員のおススメ!

都筑区仲町台

麺一 仲町台店

本誌編集長、藤本の思い出のお店は、横浜ブルーライン仲町台駅そばにある「麺一 仲町台店」さん。学生時代にこよなく愛し、通ったという思い出のお店。訪れたのはお昼過ぎ、気さくな店長が迎え入れてくれました。

名物は、ザーサイにんにく唐辛子等でできた「からし」と特製チャーシュー。この日は、編集長おススメの醤油ラーメンをいただきました。テニスに没頭し、数々の好成績を残した裏側には、この味があったのかと堪能しました。食べている間にもお土産チャーシューを求められるお客様が来店。地元でこよなく愛されるお店です。



有限会社ビッグサービス (横浜市緑区)

古紙回収、廃棄物回収をはじめ、多様な品目のリサイクル事業を手がけています。代表は、リサイクル組合広報担当理事として、本誌の発行を15年にわたって支えてきました。沈着冷静な判断力と感性の鋭さで、横浜のリサイクル業界をリードしています。

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

